

実務経験のある教員等による授業科目一覧（医療福祉学科）

対象 学科	科目名	担当教員	担当教員の主な 実務経験	授業内容
医療福祉学科	生活支援技術Ⅰ	梅田 弘子	看護師として病院・高齢者福祉施設勤務（2002～2006, 2018～現在に至る）	日常生活支援方法全般にわたり、根拠に基づいた生活支援技術を実践するための基礎的知識・技術・態度を学修する。 <u>臨床経験を活かし、各単元に必ず事例を盛り込み、より実践的な授業展開をしている。</u>
	生活支援技術Ⅱ	梅田 弘子	看護師として病院・高齢者福祉施設勤務（2002～2006, 2018～現在に至る）	「生活支援技術Ⅰ」の学びを踏まえて、介護福祉士として必要な他職種との協働による、根拠に基づいた生活支援技術を実践するための基礎的知識・技術・態度を学修する。 <u>第19回～第28回では事例による生活支援の展開として、臨床経験をもとに現場でよくあるケースを5つ挙げケアプランを立案し実施するという学修を展開している。</u>
	医療的ケアⅠ	梅田 弘子	看護師として病院・高齢者福祉施設勤務（2002～2006, 2018～現在に至る）	医療的ケア（喀痰吸引および経管栄養）に関する基礎的知識を学修する。医療安全・リスクマネジメント、清潔・感染防止、健康状態のアセスメント、呼吸器および消化器の症状に対するケア全般にわたり、 <u>臨床経験に基づき、実際のケースを想定した実践的な授業を展開している。</u>
	医療的ケアⅡ	梅田 弘子	看護師として病院・高齢者福祉施設勤務（2002～2006, 2018～現在に至る）	「医療的ケアⅠ」の学びを踏まえて、高齢者および障害児・者の医療的ケア（喀痰吸引・経管栄養）を安全かつ適切に実施するための知識・技術・態度を学修する。 <u>臨床経験を活かし、学生相互で口腔内吸引を体験し合う、臨床現場で良く起こるインシデント・アクシデントについて例示し、利用者・患者の立場に立ってケア考え実施できるようより実践的な授業を展開している。</u>
	医療的ケアⅢ	梅田 弘子	看護師として病院・高齢者福祉施設勤務（2002～2006, 2018～現在に至る）	「医療的ケアⅠ・Ⅱ」の学びを踏まえて、高齢者および障害児・者の医療的ケア（喀痰吸引・経管栄養）を専門職連携のもとで安全かつ適切に実施するための総合的な知識・技術・態度を学修する。 <u>臨床経験を活かし、医療的ケアにおいて専門職がどのように連携するのか、事例をもとに、ケアプランを立案し実施・評価まで行う授業を展開している。</u>

実務経験のある教員等による授業科目一覧（医療福祉学科）

医療福祉学科	専門演習 I B	梅田 弘子	看護師として病院・高齢者福祉施設勤務（2002～2006, 2018～現在に至る）	ゼミ形式の授業において、課題発見、アクティブラーニングの方法を用いて、福祉・健康・医療に関する学修を深める授業である。 <u>臨床経験を踏まえ、対象者の安全・安楽を考慮したケアの評価(主観的・客観的)法について体験的な学修を取り入れている。</u>
	専門演習 II A	梅田 弘子	看護師として病院・高齢者福祉施設勤務（2002～2006, 2018～現在に至る）	ゼミ形式の授業において、福祉・健康・医療に関するテーマで、地域での活動を企画・運営し、企画力・実践力・他職種との協働を学修する。 <u>臨床経験を踏まえ、小児がんの啓発活動に繋がる取り組みについて、専門機関と連携し、がん経験者の生活や思いを取り入れ、より具体的な理解、実践的なケアについて授業を展開している。</u>
	専門演習 II B	梅田 弘子	看護師として病院・高齢者福祉施設勤務（2002～2006, 2018～現在に至る）	ゼミ形式の授業において、福祉・健康・医療に関するテーマで、各学生が自身のテーマを決定し、研究計画を立案する。 <u>医療・福祉の対象者のニーズや支援の方法についてこれまでの臨床経験と研究経験を活かして、より実践的な研究となるよう指導している。</u>
	介護総合演習 I	梅田 弘子	看護師として病院・高齢者福祉施設勤務（2002～2006, 2018～現在に至る）	専門科目の学びを統合し、介護実習 I の準備・実施後の学びの統合に繋がるよう授業が構成されている。 <u>利用者の様々な暮らしの場を理解し、介護福祉士の役割・機能、他職種との連携を学べるよう、看護職としての経験を活かし実践場面を想起できるよう指導している。</u>
	介護実習 I	梅田 弘子	看護師として病院・高齢者福祉施設勤務（2002～2006, 2018～現在に至る）	介護実習 I では、利用者の様々な暮らしの場を理解し、利用者の生活の全体像をとらえることが目標である。 <u>看護職としての経験を活かし、学生の実習現場に巡回し、利用者との関わりかたについて自身の関わりを見てもらいイメージできるよう教育している。</u>
	社会福祉援助技術演習 I	田川 雄一	急性期医療の医療ソーシャルワーカーとして医療機関へ勤務（2006～2016）	社会福祉士としての価値・倫理について学修する。 <u>医療現場で起こる課題や問題について、事例を提供しながら実務経験を活かした実践的な授業を展開している。</u>

実務経験のある教員等による授業科目一覧（医療福祉学科）

医療福祉学科	社会福祉援助技術演習Ⅱ	田川 雄一	急性期医療の医療ソーシャルワーカーとして医療機関へ勤務（2006～2016）	社会福祉士としての権利擁護について学修する。 <u>医療現場で起こる課題や問題について、事例を提供しながら実務経験を活かした実践的な授業を展開している。事例においても小児から高齢まで幅広く対応している。</u>
	社会福祉援助技術現場実習概論	田川 雄一	急性期医療の医療ソーシャルワーカーとして医療機関へ勤務（2006～2016）	社会福祉援助技術現場実習の配属実習に向けて、基本的な考え方や姿勢、方法を習得することを目的としている。 <u>オムニバス形式にて講義をおこない、担当領域である医療分野については、医療機関での実務経験を活かした医療ソーシャルワークの基本的事項についてわかりやすく解説する。</u>
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	田川 雄一	急性期医療の医療ソーシャルワーカーとして医療機関へ勤務（2006～2016）	社会福祉士を取得するための学外実習を担当し、領域は医療機関での医療ソーシャルワークを学ぶこととしている。 <u>実習前の指導として、医療機関の役割、医療ソーシャルワーク、患者の個々に応じた関わりや疾患など、医療現場での臨床経験を活かした指導をおこなっている。</u>
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	田川 雄一	急性期医療の医療ソーシャルワーカーとして医療機関へ勤務（2006～2016）	社会福祉士を取得するための学外実習を担当し、領域は医療機関での医療ソーシャルワークを学ぶこととしている。 <u>実習前の指導として、医療機関の役割、医療ソーシャルワーク、患者の個々に応じた関わりや疾患など、医療現場での臨床経験を活かした指導をおこなっている。</u>
	社会福祉援助技術現場実習	田川 雄一	急性期医療の医療ソーシャルワーカーとして医療機関へ勤務（2006～2016）	「社会福祉援助技術現場実習指導」とあわせて社会福祉士国家試験受験資格取得に必須の科目である。実習現場としては医療機関を担当。 <u>医療機関への配属も医療現場での経験から急性期・回復期・慢性期と様々な領域を確保し、様々な領域を学べる医療ソーシャルワーク実習としている。</u>
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ	田川 雄一	急性期医療の医療ソーシャルワーカーとして医療機関へ勤務（2006～2016）	学外実習後の指導として、フィードバックをおこなう。実際に体験した医療機関でのケースをもとにグループでディスカッションをおこない、本学で学ぶ理論や技法と実践での学びを結び付けていく作業をおこなう。 <u>実習後の指導においても、実践での経験を用いながらわかりやすく説明していく。</u>

実務経験のある教員等による授業科目一覧（医療福祉学科）

医療福祉学科	精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I A	長谷部 隆一	精神科病院において 相談援助業務 (1988～2000年) 精神障害者通所授産施設において管理業務・相談援助業務 (2000～2001年) 相談支援事業所において管理業務・相談援助業務 (2001～2017年) 相談支援事業所において相談援助業務 (2018～現在)	精神科医療の特性と精神障害者に対する支援の基本的考え方について理解し、精神科リハビリテーションの概念と構成及びチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について理解する。 <u>精神科病院・精神障害者通所授産施設・相談支援事業所での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I B	長谷部 隆一	精神科病院において 相談援助業務 (1988～2000年) 精神障害者通所授産施設において管理業務・相談援助業務 (2000～2001年) 相談支援事業所において管理業務・相談援助業務 (2001～2017年) 相談支援事業所において相談援助業務 (2018～現在)	精神科リハビリテーションのプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーションの知識と技術及び活用する方法を理解し、精神障害者を対象とした相談援助技術の展開について理解する。 <u>精神科病院・精神障害者通所授産施設・相談支援事業所での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>

実務経験のある教員等による授業科目一覧（医療福祉学科）

医療福祉学科	精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ	長谷部 隆一	精神科病院において相談援助業務 (1988～2000年) 精神障害者通所授産施設において管理業務・相談援助業務 (2000～2001年) 相談支援事業所において管理業務・相談援助業務 (2001～2017年) 相談支援事業所において相談援助業務 (2018～現在)	1. 精神障害者の相談援助活動と精神保健福祉法との関わりについて理解する。 2. 精神障害者の支援に関連する制度、福祉サービス等について理解する。 <u>精神科病院・精神障害者通所授産施設・相談支援事業所での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ	長谷部隆一	精神科病院において相談援助業務 (1988～2000年) 精神障害者通所授産施設において管理業務・相談援助業務 (2000～2001年) 相談支援事業所において管理業務・相談援助業務 (2001～2017年) 相談支援事業所において相談援助業務 (2018～現在)	1. 精神障害者の支援において係わる施設、団体、関連機関等について理解する。 2. 更生保護制度と医療観察法について理解する。 3. 社会資源の調整・開発に係わる社会調査の概要と活用について基礎的な知識を理解する。 <u>精神科病院・社会復帰施設精神障害者通所授産施設・相談支援事業所での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>

実務経験のある教員等による授業科目一覧（医療福祉学科）

医療福祉学科	精神保健福祉援助演習Ⅰ	長谷部 隆一	<p>精神科病院において相談援助業務 (1988～2000年)</p> <p>精神障害者通所授産施設において管理業務・相談援助業務 (2000～2001年)</p> <p>相談支援事業所において管理業務・相談援助業務 (2001～2017年)</p> <p>相談支援事業所において相談援助業務 (2018～現在)</p>	<p>精神保健福祉援助の知識と技術にかかる他科目との関連性を視野に入れつつ、精神保健福祉士に求められる相談援助についての基礎知識と技術を習得し、専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系化する統合力および実践力を習得する。精神保健福祉領域の具体的な相談援助事例を活用し、個別指導並びに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング、グループワークなど）を行う。</p> <p><u>精神科病院・精神障害者通所授産施設・相談支援事業所での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u></p>
	精神保健福祉援助演習Ⅱ	長谷部隆一	<p>精神科病院において相談援助業務 (1988～2000年)</p> <p>精神障害者通所授産施設において管理業務・相談援助業務 (2000～2001年)</p> <p>相談支援事業所において管理業務・相談援助業務 (2001～2017年)</p> <p>相談支援事業所において相談援助業務 (2018～現在)</p>	<p>精神保健福祉援助の知識と技術にかかる他科目との関連性を視野に入れつつ、精神保健福祉士に求められる相談援助についての基礎知識と技術を習得し、専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系化する統合力および実践力を習得する。</p> <p>総合的かつ包括的な相談援助や、医療との連携や協働するための相談援助にかかわる具体的な相談援助事例を活用し、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング、グループワークなど）を演習形式により行う。</p> <p><u>精神科病院・精神障害者通所授産施設・相談支援事業所での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u></p>

実務経験のある教員等による授業科目一覧（医療福祉学科）

医療福祉学科	精神保健福祉援助演習Ⅲ	長谷部 隆一	<p>精神科病院において相談援助業務 (1988～2000年)</p> <p>精神障害者通所授産施設において管理業務・相談援助業務 (2000～2001年)</p> <p>相談支援事業所において管理業務・相談援助業務 (2001～2017年)</p> <p>相談支援事業所において相談援助業務 (2018～現在)</p>	<p>精神保健福祉援助にかかる他科目との関連性を視野に入れつつ、精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、精神保健福祉士に求められる相談援助についての知識と技術および専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系化する実践力を習得する。総合的かつ包括的な相談援助や、医療との連携や協働するための相談援助にかかわる具体的な相談援助事例を活用し、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング、グループワークなど）を演習形式により行う。</p> <p><u>精神科病院・精神障害者通所授産施設・相談支援事業所での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u></p>
	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	長谷部 隆一	<p>精神科病院において相談援助業務 (1988～2000年)</p> <p>精神障害者通所授産施設において管理業務・相談援助業務 (2000～2001年)</p> <p>相談支援事業所において管理業務・相談援助業務 (2001～2017年)</p> <p>相談支援事業所において相談援助業務 (2018～現在)</p>	<p>精神保健福祉援助実習を前に、その意義を理解する。また、精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する。さらに、精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ実際的に理解し、実践的な技術等を体得する。</p> <p>精神保健福祉援助実習に係る個別指導及び集団指導を通し、実習の意義・目的と、精神障害者のおかれている状況について理解を深め、自己の問題意識を醸成させる。</p> <p><u>精神科病院・精神障害者通所授産施設・相談支援事業所での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u></p>

実務経験のある教員等による授業科目一覧（医療福祉学科）

医療福祉学科	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	長谷部 隆一	精神科病院において相談援助業務 (1988～2000年) 精神障害者通所授産施設において管理業務・相談援助業務 (2000～2001年) 相談支援事業所において管理業務・相談援助業務 (2001～2017年) 相談支援事業所において相談援助業務 (2018～現在)	精神保健福祉援助実習を前に、その意義を理解する。また、精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する。さらに、精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術等を体得する。 精神保健福祉援助実習に係る個別指導及び集団指導を通し、実習の意義・目的と、精神障害者のおかれている状況について理解を深め、自己の問題意識を醸成させる。 <u>精神科病院・精神障害者通所授産施設・相談支援事業所での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	長谷部 隆一	精神科病院において相談援助業務 (1988～2000年) 精神障害者通所授産施設において管理業務・相談援助業務 (2000～2001年) 相談支援事業所において管理業務・相談援助業務 (2001～2017年) 相談支援事業所において相談援助業務 (2018～現在)	精神保健福祉援助実習における具体的な体験や援助活動を、専門的知識及び技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。また、精神保健福祉士として求められる価値、知識、技術を総合的に身につけ、さまざまな精神保健福祉課題に対応できる実践能力を習得する。精神保健福祉援助実習に係る個別指導及び集団指導を通し、精神保健福祉士に求められる能力を習得する。 <u>精神科病院・精神障害者通所授産施設・相談支援事業所での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>

実務経験のある教員等による授業科目一覧（医療福祉学科）

医療福祉学科	精神保健福祉援助実習	長谷部 隆一	精神科病院において相談援助業務 (1988～2000年) 精神障害者通所授産施設において管理業務・相談援助業務 (2000～2001年) 相談支援事業所において管理業務・相談援助業務 (2001～2017年) 相談支援事業所において相談援助業務 (2018～現在)	精神保健福祉領域における福祉専門職としての専門的知識と技術を具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術等を体得する。また、実習を通して、精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活実態や生活上の課題について把握する。さらに、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。そして、総合的かつ包括的な地域生活支援と関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に体得、習得する。 <u>精神科病院・精神障害者通所授産施設・相談支援事業所での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	保育原理	三吉 愛子	保育現場（保育園・幼稚園）に於いて乳幼児保育の業務全般を行った。 (1984～1989)	・保育に関する基本的な知識を修得し、保育の意義や目的、さらには保育者の役割と使命や専門性について、自分なりの保育観を構築するための基礎を培うことを目的とする。また、現代の保育に関する基本的法規や幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保認定型こども園教育・保育要領について理解し、わが国の保育の現状や課題について認識するために、 <u>保育現場での実践経験を活かし、より保育現場をイメージして理解を深めることのできる授業を展開している。</u>
	保育内容演習Ⅱ（人間関係）	三吉 愛子	保育現場（保育園・幼稚園）に於いて乳幼児保育の業務全般を行った。 (1984～1989)	・人間関係の基礎を培う乳幼児期の発達を理解し、人とかかわりの育ちに関する知識を修得する。また、 <u>保育実践事例</u> を通して、子どもをめぐる人間関係について学び、人とかかわる力を育むための保育者の役割と援助について、 <u>保育現場での実践経験を活かし、より実践的理解のできる授業を展開している。</u>

実務経験のある教員等による授業科目一覧（医療福祉学科）

医療福祉学科	乳児保育	三吉 愛子	保育現場（保育園・幼稚園）に於いて乳幼児保育の業務全般を行った。 (1984～1989)	・乳児期の発達と特徴を理解し、乳児保育の基礎的知識及び実践技術を学んだ上で、乳児保育の意義・方法・課題について理解を深める。さらに、集団保育の場としての保育施設の果たす役割について、 <u>保育現場での実践経験を活かし、より実践的な理解のできる授業を展開している。</u>
	障がい児保育	三吉 愛子	保育現場（保育園・幼稚園）に於いて乳幼児保育全般を行い、障がい児保育を実践した。 (1984～1989) クリニックにおいて、主に発達障がい児の親子への検査および相談業務を行った。 (2015～2018)	・障がい児保育を支える理念および障がい知識と具体的支援方法について、理解と認識を深めることを目的とする。さらに、障がい児保育の実際、家庭及び関係機関との連携、障がいのある子どもの保育にかかわる現状と課題について、 <u>保育現場での実践経験と医療・相談機関での経験を活かし、より実践的な理解のできる授業を展開している。</u>
	子どもの保健ⅠA	光盛 友美	看護師として病院勤務（2003～2005）	子どもが健やかに成長・発達するための生活環境や支援、子どものもつ健康問題に対し、子どもや保護者を支援できる専門的な知識を身につけることを学修する。具体的内容は、子どもの疾病とその予防法及び適切な対応、環境及び衛生管理並びに安全管理について。 <u>臨床での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	子どもの保健ⅠA	光盛 友美	看護師として病院勤務（2003～2005）	子どもの健やかな成長・発達を促すため、子どもの病気・事故に対し、予防とその対応についての基礎知識を修得する。 <u>臨床での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	病児保育	光盛 友美	看護師として病院勤務（2003～2005）	病気をもつ子どもと家族の理解を踏まえ、子どもへの医療提供のあり方（インフォームド・アセント、プリパレーション）の実践を行う。 <u>臨床での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>

実務経験のある教員等による授業科目一覧（医療福祉学科）

医療福祉学科	コミュニケーション技術 I	上原 千寿子	<p>社会福祉法人宇治明星園非常勤嘱託（地域活動担当）</p> <p>1977～1981</p> <p>MSW として病院相談室勤務</p> <p>1981～1983 専任</p> <p>1984～1986 大学教員と兼任</p>	<p>介護現場で必要とされる「コミュニケーション技術」を理解することにより、利用者と、関わる人々との関係調整能力を習得する。また相手の状況やその場に応じて、必要なことをわかりやすく語り、相手の話をきちんと受け止め適切なやり取りができる、またそれを記録する力を学修する。<u>現場での経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u></p>
	社会福祉原論 I、II	上原 千寿子	<p>MSW として病院相談室勤務</p> <p>1981～1983 専任</p> <p>1984～1985 兼任</p> <p>広島県 MSW 協会研修担当として相談援助技術・保健医療サービス・事例研究などの研修を実施。</p> <p>1989～現在</p>	<p>MSWの歴史と役割を確認しつつ、医療福祉相談活動に必要な医療保険サービスの全体像や特徴を理解し、基本的な医療費相談の流れを学修する。また地域包括ケアが求められる中で、その役割の果たし方や多職種連携を学修する。<u>現場や職能団体での経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u></p>
	音楽療法概論	小坂 哲也	<p>非常勤の音楽療法士として病院に勤務（1999～2019）</p>	<p>各領域別に音楽療法の流れや他職種との連携をセッション事例やプログラム例に沿って把握すると共に、音楽療法の現状 や今後の課題について検討する。<u>病院での勤務経験を活かし、事例を基に、より実践的な授業を展開している。</u></p>
	リハビリテーション論	後藤 力	<p>理学療法士として病院勤務（1994～2008）</p>	<p>理学療法士としての臨床経験を基に、患者さんに対する心構えや、具体的な疾患について学生に提示している。<u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u></p>